

学校だより

令和2年11月発行
金沢高等学校

今年も残すところわずかとなりました。この1年、保護者の皆様には学校運営に対して多大なご支援やご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、3年生は「入試改革」の最初の学年にもかかわらず、新型コロナウイルス感染症の拡大により、不安が完全に払拭されないまま受験を迎えているのではないかと思います。

さらに、大学入学共通テストにおける英語成績提供システムの見送りや、共通テストの記述式問題の出題も見合わせとなり、計画していた受験が思うようにできないジレンマもあるのではないのでしょうか。しかし、この中においても、11月18日現在、四年制大学・短期大学・専門学校・就職（含む公務員）に併せて約76名の生徒が自らの進路希望を達成することができました。コロナ禍では、学校だけでなく、就職活動や日本中のあらゆる企業においても本当に大変な状況になっています。この後、受験に臨む皆さんは「覚悟を決め」て3年間、学んできた能力を冷静に発揮してほしいと思います。1・2年生の皆さんは、今後ウィズ/ポストコロナの時代に対応できるよう、物事を悲観的にとらえるのではなく、ピンチをチャンスにするよう、しっかりと前を向いて準備を進め、学校生活を過ごすよう心がけてください。

本校の教職員は今後も学習指導はもちろんのこと、メンターとして、伴走者として生徒諸君に寄り添い叱咤激励を続けていきたいと考えております。

(副校長 北口 広茂)

【探究企画推進室より】

～探究授業の概要と解説～

現在の日本社会は、膨大なデータ蓄積とAIの進化を軸にした第4次産業革命が進むとともに、前例のない超高齢社会に突入し、過去の成功パターンを頼りにできなくなりつつあります。その中で、より多くの人、多くの仕事に主体性や創造性、課題発見力やチャレンジ精神が求められています。

この状況も踏まえ、学習指導要領が令和4年度から新しくなりますが、その中核にあるのが『総合的な探究の時間』という科目です。生徒は自ら課題や疑問を発見し、それについて調べ、考え、まとめ、伝え、更にそのプロセスの中で新たな課題や疑問を発見するという活動を行います。

本校では、今年度より1・2年生でこの科目を先行実施しております。生徒の様子を見ると、大人が想像できないような新しい着眼点やアイデアを出しており、驚きとともに非常に頼もしく感じています。

今後は外部機関との連携を増やし、更に生徒が豊かな体験をできるように工夫していきます。



【部活動の活躍】

11/12(木)～11/15(日)にかけて、石川県高等学校新人大会が行われました。新型コロナウイルス感染症の流行にともない、練習内容に色々と制約を受ける中、勝利をつかむため、1・2年の皆さんはつらい練習に励んできたと思います。紙面の制約上、一部の部活動の成績のみの紹介になりますが、その栄誉を掲載いたします。本校ホームページにも掲載されていますので、そちらもご覧ください。

(県新人大会)

【サッカー部】 第3位

【剣道部女子】 団体戦優勝

個人戦優勝：河邊朱華

個人戦準優勝：高見凜香

【柔道部】 個人戦男子第2位：大河内優斗

個人戦女子第3位：西山もも

【女子バレーボール部】 第3位

【女子バスケットボール部】 第3位

【男子バスケットボール部】 第3位

【書道部】 書道部門優秀賞：佐藤美空

【新聞部】 総合の部：優秀賞

【箏曲同好会】 第2位

(北信越大会)

【ソフトボール部】 準優勝

【男子テニス部】 団体戦4位 全国大会出場

(全国大会)

【インターアクト部】 スポ GOMI 甲子園出場